



予算決算特別委員会の様子

問 地域おこし協力隊事業について。

答 協力隊員は、2名で来年度は西牧地区を中心に活動予定。仕事の内容は、地域で困っている問題等を掘り起こしていただく。

問 福祉サービスについては、こんなサービスがあればいいなというニーズの把握をし、町にたげてもらおう。出来れば起業してもらえればと考えている。

問 ぐんま緑の県民基金事業の実施箇所は。

答 馬山バイパス、大東区上ノ原の伐採と平成26・27年度に森林整備を実施した箇所の植栽や管理である。

問 林道作業道総合整備事業の一般財源の基準は。

答 定額であり、行政改革で減額してきた。

問 小口資金融資対策について。

答 小口資金融資利子補

給金144万円、小口資金融資保証料補助112万円、中小企業経営安定資金融資保証料補助2000円である。

問 「道の駅」にも「再整備事業」の1億4813万円の事業内訳は。

答 第1期の販売施設等建設工事費1億4040万円のうち過疎債1億1440万円、一般財源2600万円である。

第2期の群馬森林管理署下仁田森林事務所移転による設計委託233万円のうち森林整備加速化・林業再生推進交付金116万円、一般財源117万円である。

第2期の交差点改良、駐車場等設計業務委託540万円のうち社会資本整備交付金325万円、一般財源215万円である。

問 道路橋梁総務費、国・県道改良促進の内容は。

答 道路協会の日本・関東・群馬県・富岡支部

の会費および県道下仁田上野線、国道254号、県道小平下仁田線の各建設促進期成同盟会の負担金となっている。

問 期成同盟会では総会ありきになっているようだが、活動内容は。

答 国道254号の期成同盟会では、要望活動として6団体の同盟会で、毎年、県知事・県議会議長に要望している。当町では、踏切や白山のカーブの改良、馬山から小坂へ抜けるバイパスの要望をしている。

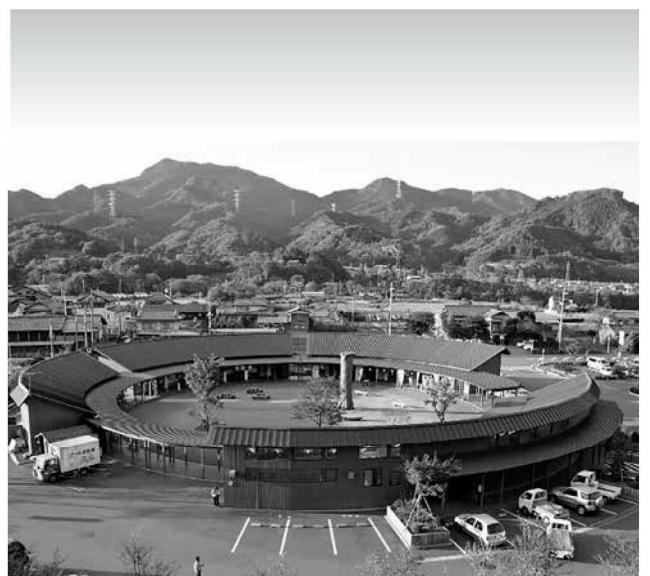
問 教育振興費の国際交流教育について。

答 主に中学2年生を対象とした海外派遣事業の費用とALTの招致事業費である。

問 引率者を含めた海外派遣事業の内訳と派遣先および生徒の選考方法について。

答 平成28年度は、生徒12名分と引率者3名分の費用を計上している。一人当たり約40万

円のうち、12名の生徒からは、約半分の20万円を負担していただいております。引率者の手当として他に一人約2万円余支出している。派遣先は、28年度もオーストラリアのブリスベン郊外を予定している。選考方法についてはくじ引きとしている。



道の駅しもにた

船風穴入場料600万円を含む1101万円を今後の荒船風穴整備のために、基金に積み立てている。

問 ジオパーク推進費の内容は。

答 下仁田町で開催するジオパーク関東大会開催に160万円、ジオサイトの整備事業に7702万円。新規に大学等と連携した域学連携推進事業によりジオサイトの科学的裏づけにも対応したい。

問 歴史館費の積立金は。

答 ふるさと下仁田応援寄附金500万円と荒